

経営比較分析表（令和6年度決算）

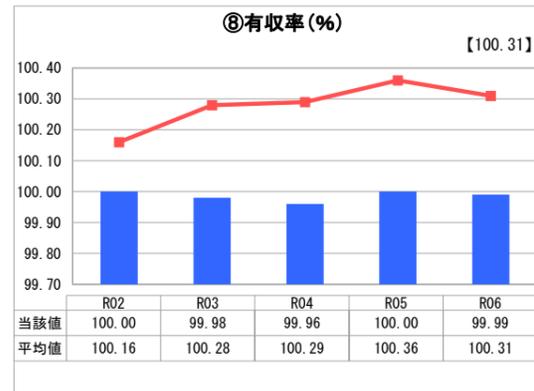
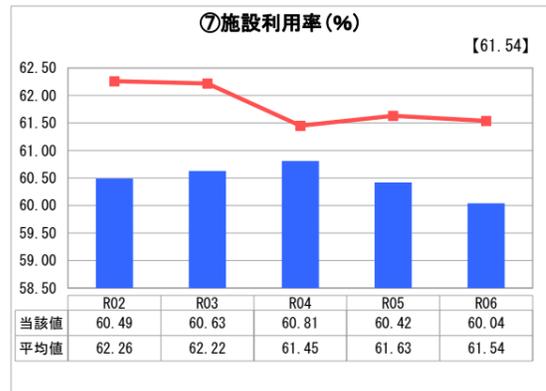
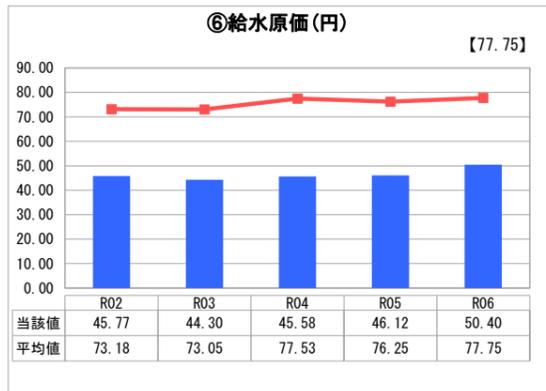
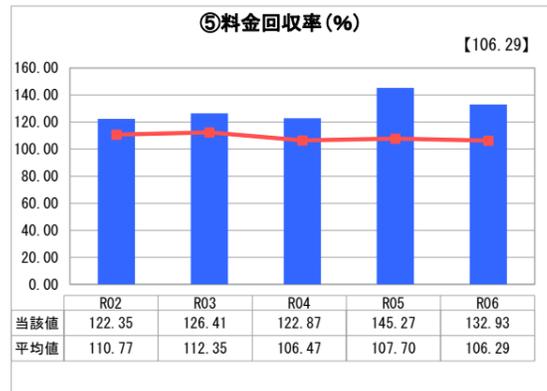
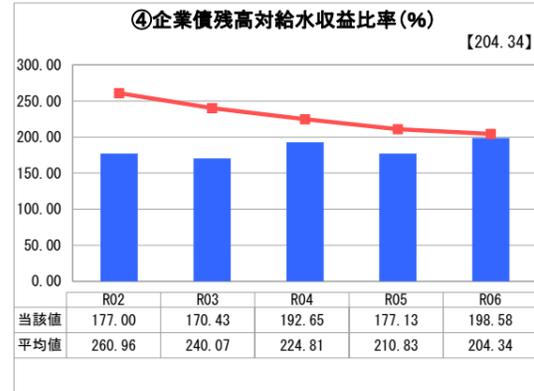
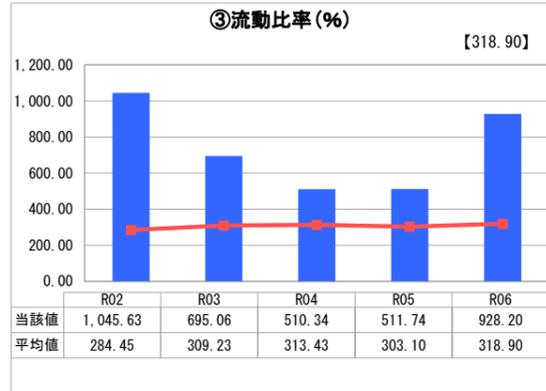
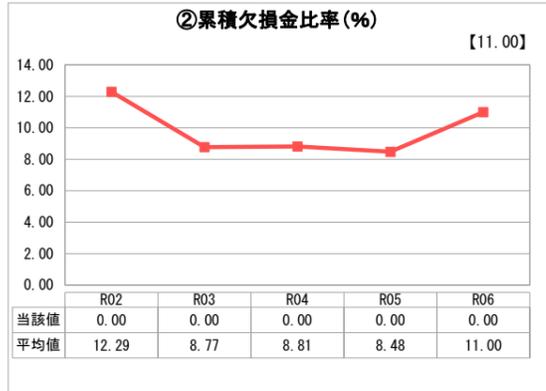
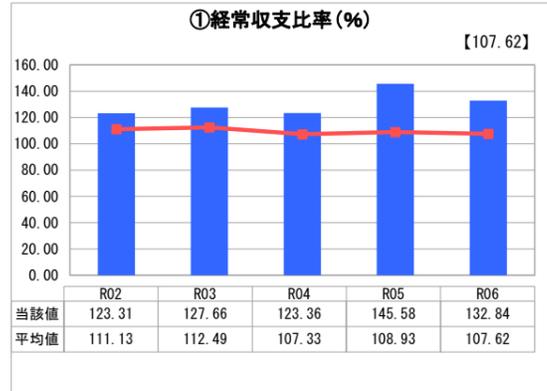
岡山県 岡山県南部水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.26	99.90	0	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,217,690	1,209.74	1,006.57

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

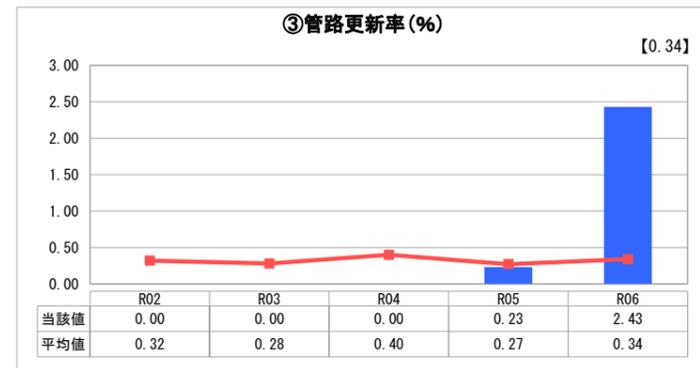
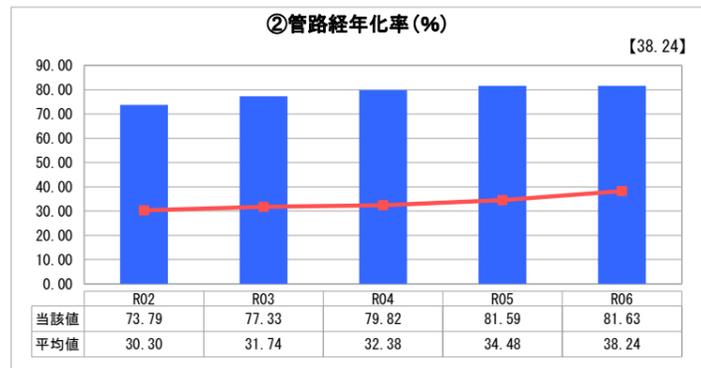
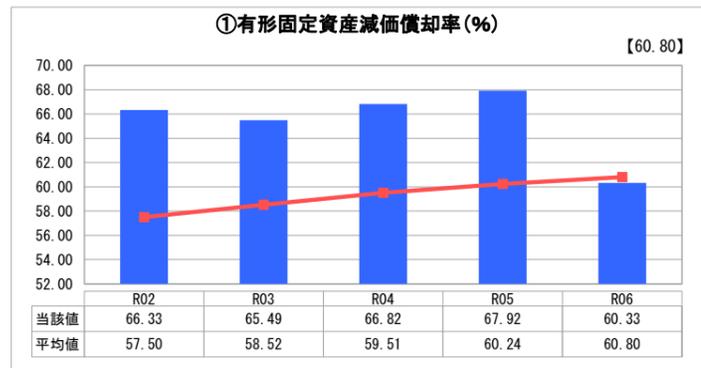
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、経常費用の増加があるものの、100%を超えた健全な水準を維持している。
- ② 累積欠損金比率は、0%を維持しており、当面欠損金が発生することはないと考えられる。
- ③ 流動比率は、未払金の減少により100%を大きく上回っており、短期的債務に対する十分な支払能力を有している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、施設更新に伴い企業債の借入を行ったため上昇傾向にある。今後も大規模な施設更新が控えており、当該比率の上昇が考えられる。
- ⑤ 料金回収率は、100%を超えて良好に推移しており、送水に係る費用を料金で賄うことができている。
- ⑥ 給水原価は、経費節減などにより経年と比較して同程度で推移しており、類似団体平均値と比較して安価に抑えられている。
- ⑦ 施設利用率は、1日平均送水量の減少により低下傾向にある。施設更新時には適切な施設規模を考慮し、施設の統廃合・ダウンサイジング等の検討が必要である。
- ⑧ 有収率は、概ね100%で推移しており、送水量が収益に高く反映されている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、令和6年度の償却資産の増加により減少し、類似団体平均値を下回ったものの、引き続き緊急性・優先度を考慮し、計画的な施設更新が必要である。
- ② 管路経年化率は、類似団体平均値を大きく上回る水準で、管路の老朽化が進んでいる。漏水発生頻度も増えており、耐震化を含む早急な更新が必要である。
- ③ 管路更新率は、令和6年度に管路の更新があり類似団体平均値を大きく上回ったものの継続的な更新が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営状況について、これまでのところ健全で効率的な運営ができており、堅調に推移していると考えられる。

今後、施設全体の大規模更新事業が本格化し、事業費が大幅に増加する中、水需要は減少傾向にあり経営の健全性を維持することは困難になると考えられる。

増大する更新需要に対し、平成30年度に策定した施設更新の基礎となる「第二次整備計画」や経営戦略に基づき資金の確保に努め計画的かつ効率的な更新事業を進めていく予定である。